

◇ お盆考

・ 盆燈籠の代わりにお供えされる「名号板(墓参札・塔婆)」、お盆明けには廃棄処分されるのですが、「南無阿弥陀仏」を棄ててしまうのは如何なものかと、最近問題視されるようになってきました。そこで今年から超覚寺でも「俱会一処」を印刷した板を扱うようにしました。

・ 燈籠や板には墓参者の名前を記入します。そのいわれは今となっては不明ですが、やはり原爆が関係しているのかなぁと思います。原爆投下直後のお盆の時に、お墓が安否確認の場になっていたのではないのでしょうか。所在が不明でも無事ならお墓参りはするだろうから、そこに自分の名前を残しておいたのです。これが習慣として今に残ったのなら納得できる気がします。

・ 広島のお盆はお墓参りが多いですね。10ヶ所以上お墓参りされる方が少なくありません。全国的には普通、父方・母方・つれ合いの家のお墓3つぐらいただと思うのですが、広島の方は兄弟姉妹や親戚、友人のお墓まで参る方もいらっしゃいます。盆燈籠を車に満載して丸一日かけて墓地巡りするのを、広島の方は楽しげにこなしているようにも見えます。

・ この夏もある墓地で盆燈籠のボヤがあったそうです。超覚寺は今年から盆燈籠を復活し、21軒に31本(内、初盆4軒14本)立ちましたが、幸い何の問題も起こりませんでした。場所によっては地面に突き刺しにくいようですが、皆さん工夫されていました。盆燈籠は来年以降も続けます。

◇ つばやき・ぼやき

・ 二夏振りにウチの家族がお盆のお手伝いをしておりましたが、皆さん覚えてくださっていて嬉しかったです。ご心配をお掛けしておりました。

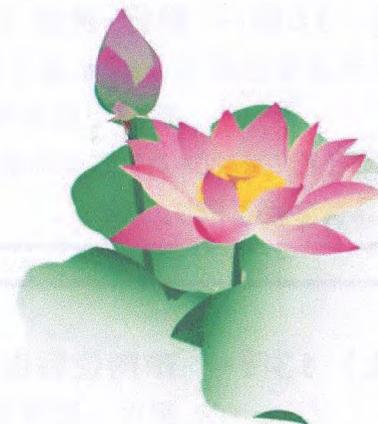
・ 2019年の開基400周年に向けて、超覚寺の由来を調査しております。古い歴史や写真・品々等ご存知の方は、ぜひご連絡ください。

・ 間もなく本堂のリフォームが始まります。また工事等でご面倒をお掛けいたしますが、何とぞご了承いただきますよう、お願いいたします。

発行人:超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*^一-^一)人 i~ 合掌

2012年 秋(9月) 超覚寺報 第3号

【八丁堀だより】



直宗大谷派(東本願寺)



林鷲山 憶西院 超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
〔since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5〕

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2
Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113
Mail : otera@kme.biglobe.ne.jp
Blog : <http://namuamidabutsu.ameblo.jp>

○ 報恩講について

我ら真宗門徒が祖師と仰ぐ親鸞聖人は、1262(弘長2)年11月28日に90歳の御生涯を終えられました。親鸞聖人をはじめ、お念仏の教えに生きられた先達に想いを致し、その恩徳に感謝し報いるためのお勤めが報恩講です。お念仏の教えを聴聞し自らの生活を振り返る、一年で最も大切な御仏事として、全国各地の寺院をはじめ、御門徒の家々においても勤められます。

「報恩」は、恩に報いると読めますが、「恩を正しく知り、恩を感じて、恩に応える」ということです。その知恩報恩ということについて、ひたすらお念仏しても自分の精神力を頼りにする心(自力の心)があるならば報恩とならないことを、「仏恩を念報することなく、行を修めながら驕り高ぶりがあり、常に名利に囚われ我執に覆われている」と、親鸞聖人は厳しく指摘しておられます。自力の心への徹底した批判が懺悔の心となり、知恩報恩と重なるのです。ですから、報恩講は親鸞聖人の御徳を讃嘆するだけでなく、親鸞聖人の願いに出遇う場であるとも言えます。そのような報恩講は、人々が寄り合い、粗齋(おとき)をいただくなど、共にふれ合いつつ聞法する場として、今日まで脈々と勤められてきています。(東本願寺小冊子より加筆転載)

☆ 浄土真宗基礎講座：毎月最終日曜日14時～15時

4月から東本願寺奉仕団の参加者向けに学習会を開催しておりましたが、今後もそのまま読経の練習や浄土真宗の講義を続けることになりました。初めての方もどうぞ遠慮せず学習会にご参加ください。

今後の学習会 ⇒ 9/30、10/28、11/25、12/30

☆ 書写(写経)の時間：毎月最終日曜日15時～16時

上記の学習会の後、1時間ほど書写(写経)の時間を設けています。書写だけの方も、この時間帯に本堂2階までお越しください。正信偈のテキストを各々で書写いただきます。参加費は不要です。テキストもこちらで用意しますが、書道の道具や筆^{ペン}は各自ご持参ください。

○ ペット葬について

ある御門徒さんから「先日茶毘に付したペットの遺骨もお墓に納められますか？」と尋ねられましたので、「ご家族の皆さんがそう望まれるのであれば納骨できますよ。」とお伝えしました。納骨だけではなく、御葬儀もご依頼があればお勤めいたします。ここ数年、ペット葬とかペット墓とかが目につくようになりましたが、一緒に住んでいる動物は家族なのですから、人と同じように葬儀・納骨しても構わないものと思っております。

ちなみに、超覚寺境内の菩提樹の根元には何体か動物が埋まっております。いわゆる樹木葬になりますが、飼われていた動物ではなく、近所で死んでいた猫や蛇やカラス等を弔いました。でも埋め方が浅いと、しばらくしてからスゴイ悪臭が漂ってくるのですね。蛇1匹でこんなに臭うんだったら原爆後の広島は本当に大変だったんだろうなあと、その時感じたものです。

ガッツリした御葬儀でなくても何か弔いたい方は、何なりとご相談ください。

◇ 超覚寺の会計について

これまで超覚寺の会計は、門徒総代各位と広島県庁にのみ報告していました。今後は全御門徒各位にも会計報告をする予定ですので、改めて簡単にご説明させていただきます。

超覚寺の運営費は、一般会計(法事法座等の御布施・御供)と寺院護持費(墓地管理費)の両建てでなされています。通常の間費(教化費・水道光熱費・通信費・給与等)は一般会計から、東本願寺への納金や大規模な修繕の費用は寺院護持費から捻出します。

寺院護持費(墓地管理費)のお支払いについては今まで通り、お墓参りの際に玄関までお越しください。期限も特に設けておりません(何年も滞納されては困りますが…)。今まで郵便振込みをされていたご遠方の方々は、振込口座が下記に変わりましたのでご注意ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

超覚寺 秋・冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがたく存じます。さて、下記の通り法要・法座を
勤修致しますので、ぜひご参詣くださいますよう、
ご案内申し上げます。 <(_ _)>

◎ 秋期彼岸会法要

9月22日(土) 10時～ 勤行・法話 (約1時間半)

超わかる超覚寺基礎法座 ⑥ < 仏弟子になるとは >

講師：超覚寺住職 和田隆彦

※東本願寺奉仕団に参加された方々の感話もあります。

※9/21の夜席は今回は取り止めます。

◎ 報恩講法要

11月17日(土) 13時～ 市内住職出仕勤行・法話

講師：超覚寺住職 和田隆彦

18日(日) 10時～ 勤行・法話・粗齋(おとき)

13時～ 勤行・法話

御講師：大阪市専光寺住職 高島洸陽 師

◎ 超覚寺門徒 追弔会・永代経法要

12月31日(月) 12時～ 勤行・法話 (約30分)

この1年間で大切な方を見送られた皆さまに一堂に会してお参りいた
だき、亡き方をお偲びするとともにその仏徳を讃えさせていただきます。
有縁の方々はどうぞお参りください。

◎ 超覚寺前住職 一周忌法要

12月31日(月) 11時～ 勤行・法話 (約30分)

◇ 今年の年回忌に該当する方は、ご確認の上ご連絡ください。

- ・2011(平成23)年：1周忌
 - ・2010(平成22)年：3回忌
 - ・2006(平成18)年：7回忌
 - ・2000(平成12)年：13回忌
 - ・1996(平成8)年：17回忌
 - ・1988(昭和63)年：25回忌
 - ・1980(昭和55)年：33回忌
 - ・1963(昭和38)年：50回忌
- 年回忌ではないが祥月命日参りを希望される方もご連絡ください。

☆ 死別の分かちあいの集い：14時～16時

- ・伴侶：毎月第一土曜日 (10/6、11/10、12/1)
- ・こども：毎月第一日曜日 (10/7、11/4、12/2)
- ・自死：毎月最終土曜日 (9/29、10/27、11/24、12/29)

本堂2階にて開催しています。予約も参加費も不要です。

遅刻も早退も構いません。辛い寂しいお気持ちを吐露してください。

☆ 「いのちに寄り添う会」自死・自殺予防フォーラム

12月1日(土) 13:30～15:30 (13:00開場)

於 アステールプラザ 中会議室 (広島市中区加古町)

私は平素から自死対策活動として、自死遺族の集いや自死念慮者の相
談、自死者追悼法要に携わってきました。全国の自死者数は大幅に減るこ
ともなく、広島県でも毎年約600名が自死され、最近では若年層の自死が目
立つようになりました。自死に対する社会の差別視も根強く、そういう世代・
世間への啓発の必要性を感じていました。そこで有志と共に、【自死・自殺
や精神疾患についての正しい知識の普及啓発】を目的とした「いのちに寄り
添う会」を設立しました。そして上記予定でフォーラムを開催することになりま
した。自死・自殺は他人事と思っている、イジメや就職難、人間関係など
の困難に遭うと、誰でも生きるのが嫌になってしまうものです。自死の実態を
知っていただきたく、ご都合の良い方はどうぞご参加ください。